



レストハウス営業中です！

旭山記念公園レストハウス営業中、今月からメニューを1品ずつ紹介しています。
9月は「いもち」、甘醤油で味付けたどこか懐かしい味わいは秋にぴったり。
レストハウスにて発売中、ぜひ一度お試しください！



双子沢川（ふたごさわがわ）

旭山記念公園には2本の川が流れています。

つり橋の下を流れる「双子沢川」と、藻岩山から流れてきて第2駐車場を暗渠（あんきょ＝地下をパイプで流れる川）で貫き、再び流れ出た後大きな谷を刻んで界川に合流する「旭山川」です。

今回は「双子沢川」（ふたごさわがわ）の特集です。

◎源流は公園内

双子沢川の源流は、つり橋上流およそ100m、栗の木デッキの下の沢です。

源流は笹や草に覆われていて上からは見えませんが、その沢にはわき水が何カ所かあるらしく（冬でも凍らない場所がある）、100m下ったつり橋の下では夏でも涸れないほどの水が流れています。

一度沢に降りて調べてみようと考えています（ダニのいない時期に）。

◎暗渠の後に

双子沢川は公園敷地内では流れが見えますが、お隣の敷地内で暗渠になります。

地図で見る限り、隣地内を暗渠で貫いた後、藻岩山麓道脇の法面で地上に出て、護岸ブロックを滝のように流れ落ち、道路の下をくぐって大きな谷を刻む流れとなります。

なお、地図上では、100mほど西にもう1本の川があり、暗渠の中でそれが双子沢川と合流しているであろうことが見て取れます。

◎そして暗渠で界川に合流

深い谷は100mほど続き、双子山三角公園西側で藻岩山麓道をくぐる導水管に入り、すぐ地上に出て旭山公園北端の山のへりを流れます。さらに住宅地を抜けてみたび山麓道をくぐって双子山の住宅地を暗渠で抜け、「双子山1」「界川1」の交差点の地下で界川に合流。ここで双子沢川の流れは終わります。

このように双子沢川は、短いながらも幾つかの表情を見せてくれます。

◎生物は未調査

双子沢川の調査はまだ行っておらず、どんな水生生物がいるかは不明です。

こちらもいつか調査を行いたいです。

◎双子沢川はわずかに残された昔の自然の姿

双子沢川、今はもう大半が暗渠ですが、園内つり橋付近と山麓道沿いの双子山三角公園付近の谷では、わずかに残された昔の自然の姿を感じることができます。

沢＝谷は昔から人が利用しにくいため、かえって自然が残されているのでしょう。

ここでは野鳥の姿も多く観察されますが、鳥たちもこの場所にいると落ち着くのかもしないですね。



9月の「野鳥観察会」「自然観察会」

●「旭山野鳥観察会」毎月第2土曜日開催、今月は9月8日（土）、来月は10月13日（土）です。

8時開始、参加費100円（保険代として）、双眼鏡無料貸出します。

●「旭山自然観察会」、毎月第3日曜日開催、今月は9月16日（日）、来月は10月21日（日）です。

9時開始、参加費100円、双眼鏡貸出あり

植物や昆虫観察を中心に「旭山都市環境林」を歩きます。

●「旭山自然写真展」9月21日（金）～30日（日）、レストハウス＆森の家にて開催

旭山の自然・生物を写真で紹介します。入場無料、ぜひご覧ください。



ウグイス行方不明

毎年4月中旬にやって来るウグイス、今年は旭山で「行方不明」になっています。
5月下旬まで森の家の裏でよく囀りしていましたが、6月に入って鳴き声を聞かなくなり、園内全域でも存在を確認できなくなりました

その間に訪れた低地から山地まで道内数カ所のどこでもウグイスはいたので、全道的に減っているとは考えにくい。

秋のウグイス 2017年10月20日旭山にて撮影→

ウグイスが6月以降まったくいないなどということは今年が初めて。

ウグイスは秋になると「ヂッ チッ」と鳴きながら笹の中を移動する姿がよく見られ、旭山でも去年は見られましたが、今年は見られるでしょうか？ 秋のウグイスに要注目です。



9月の野鳥トピックス

野鳥についての詳しい情報はホームページの野鳥情報をご覧ください。森の家までおたずねください。

★カケス(亜種ミヤマカケス)はいつ来るか？＝9月にはカケスが山から降りてきます。

今まで最も早い初見記録は9月1日でしたが、通常は9月中旬。ことしはいつかな？

★キビタキやオオルリはいつまでいるか？＝一方で9月は多くの夏鳥のキビタキ、オオルリが南に渡ってなくなる時期です。オオルリは幼鳥も出ていますが、今月中に多く出会えるといいですね。

★そしてセンダイムシクイは行った＝8月19(日)を最後にセンダイムシクイの声や姿を確認していません。毎年お盆過ぎにいらなくなります。

コサメビタキ幼鳥→

★オオタカやハイタカ＝9月にはオオタカやハイタカの観察情報が増えます。巣立ちした個体が親から離れて行動することに関係していると考えられます。オオタカやハイタカは人が近寄ると木の枝から低く飛んで少し先の木まで逃げ、それでも近づくともっと遠くに飛んでゆきます。

★シマエナガ＝巣立ち幼鳥はもう顔の黒い帯がなくなりました。双子沢川によく出ます。



旭山ネイチャーフォトミニギャラリー 2018年9月



エゾリス、顔のアップ



ノスリ、藻岩山周辺に居ついたか



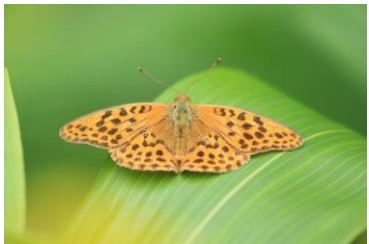
ルリボシヤンマのホバリング



近年数が増えているナツアカネ



旭山で初めて確認されたアカエゾゼミ



ウラギンスジヒョウモン、今年は少ない



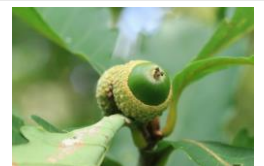
園内1カ所だけにあるハンゴンソウ



今年は多いエゾヤマハギの花

編集 後記

毎年秋になると、その年はどんぐりがどれだけなるか気になります。旭山では3年前、一昨年と2年続けてほとんどゼロ、昨年も少なかった。しかし今年は、緑色のどんぐりが園内各所で大きくなってきています。今年の旭山は、4年振りにどんぐり拾いが楽しめそうです。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第55号 2018(平成30)年9月2日発行

発行：(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所：〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先：電話 011-200-0311(土・日・祝日10時～16時) FAX 011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahi-yama/>